

入院診療計画書 「 新生児・乳児発熱の治療を受けられる さんへ 」

| (病名)      | (症状)   | (説明日) | 年 月 日                                    | (ご本人・ご家族) | 確認サイン                                      |
|-----------|--|-------|--|-----------|--|
| 経過        | 入院時  |       | 2日目～5日目                                  |           | 6日目(退院時)                                   |
| 月 日       | 月 日  |       | 月 日～ 月 日                                 |           | 月 日  |
| 到達目標      | 脱水症状が改善する。   |       | 活気が出て、哺乳量が増える。                           |           | 検査結果が改善し全身状態が安定する。                         |
| 治療処置      | 輸液による水分補給・栄養補給のために持続点滴を行います。抗生剤を1日3回行います。必要時、鼻口腔の吸引を行いますので哺乳前にお知らせください。  |       | 必要時血液検査があります。<br>おなかが張るようでしたら浣腸や排気を行います。 |           | 検査結果で点滴が終了します。                             |
| 手術        | □無 ・ □有 (術式: )   |       |  |           |  |
| 検査        | 身長・体重測定、血液検査・検尿・胸部レントゲン検査、髄液検査、鼻・咽頭培養検査をします。   |       | 必要時に検査があります。                             |           | 退院時、必要に応じて血液検査があります。                       |
| 薬剤        | 現在服用されている薬があれば、全て看護師にお渡しください。症状に合わせて薬がはじまります。  |       | 内服ができない場合はお知らせください。                      |           |  |
| 全身管理      | 毎日検温をします。但し熱がある時は例外です。<br>10時に尿・便の回数をお尋ねします。点滴が確実に入っているか、点滴の漏れがないか、夜間も巡回し点滴の管理をします。  |       |  |           |  |
| 食事        | 特別な栄養管理の必要性<br>□有 ・ □無<br>無理のない程度で制限はありません。ミルクの方は哺乳瓶や消毒などの持参もお願いします。病院ミルクをご希望の際はお知らせください。  |       |  |           |  |
| 安静        | 髄液検査後は1時間安静、だっこや哺乳は出来ません。その後は自由にだっこや哺乳もできます。   |       |  |           |  |
| 清潔        | 入浴はできません。  |       | 身体拭きや沐浴、体重測定を行います。                       |           |  |
| 患者・家族への説明 | 主治医から病状・検査結果・治療について説明します。看護師が入院生活のオリエンテーションをします。中学生以下のお子様の面会はできません。感染防止のため、病室に入られる際は手洗いをお願いします。治療・福祉などの相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。 |       | /  |           | 医師より退院の説明があります。看護師より退院後の生活や次回受診について説明をします。 |

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名